令和４年度第２回苫小牧市環境基本計画推進会議録

日　　時：令和５年３月２７日（月）１４:００ ～ １４:３０
会　　場：市役所９階議会大会議室
出席委員：９名
会 議 録：以下のとおり

（櫻井課長）
　定刻前ではありますが、委員の皆さんお揃いですので、さっそく始めさせていただきたいと思います。
　本日はお忙しい中、御出席をいただき誠にありがとうございます。
　進行をさせていただきます、環境衛生部環境保全課長の櫻井と申します。
　どうぞよろしくお願いいたします。着座にて失礼いたします。
　本日は、令和4年度に本市で実施した、環境基本計画推進事業の実施報告をしたのち、本推進会議の環境審議会への統合にあたって、本推進会議のこれまでの歩み、歴史について振り返り、どのような形で環境審議会へ統合されるかについて報告いたします。
　なお、本日は 4名の委員より、欠席との連絡をいただいております。
　また、Ａ委員におかれましては、所要により 30 分ほど遅れて到着すると連絡をいただいております。
　会議開催にあたり、本推進会議の会議録につきましては、「苫小牧市市民参加条例」第11条により公開することとなっております。ホームページ等で公開してまいりますので、あらかじめ御了承のほど、よろしくお願いいたします。
　なお、マイクのご使用につきましては、同時に接続できる台数に制限がございますので、発言の際に、目の前のボタンを一度押していただき、話し終えたら、再度ボタンを押して、切断していただくよう、御協力をお願いいたします。
　それでは、ここからの進行につきましては、会長が議長として会議を進めていただきます。岩田会長よろしくお願いいたします。

（岩田会長）
　それでは、次第により会議を進めてまいります。事務局より各議題の説明のあと、質疑応答という形で行います。質問等がある方は挙手をお願いいたします。
　本日の会議は、15時30分までを予定しておりますので、皆様の御協力をお願いいたします。
　それでは、議題「令和4年度実施事業（活動報告）」について、事務局から説明をお願いします。

（笠山主事）
　環境保全課の笠山と申します。よろしくお願いいたします。
　それでは、私から令和４年度事業（活動報告）について、説明申し上げます。
　着座にて説明させていただきます。

資料１をご覧ください。
令和４年度では、全６つの事業を環境基本計画推進会議事業として予定し、そのうち４つの事業を実施いたしました。
はじめに「せせらぎスクール」の実施結果についてです。
例年、応募人数も非常に多く、人気な事業であることから、午前の部、午後の部と２部制とし、参加人数に昨年度の倍の人数を集め、実施する初の試みを予定しておりましたが、天候に恵まれず、やむなく中止の判断をしております。
次に「ウトナイ湖漁業体験」の実施結果についてです。
本事業もせせらぎスクールと同様、例年人気な事業ではございますが、講師を依頼しております、ウトナイ養殖漁業会より、新型コロナウィルス感染症の感染拡大を考慮し、中止としたい旨の打診を、当事業を所管する環境生活課が受け、事業を中止といたしました。
次に「身近なゼロカーボン見学会」の実施結果についてです。
本事業は、令和４年 11 月 10 日（木）に、突撃！とまエコ企業で動画を公開している企業でもある、大鎮キムラ建設㈱、トヨタカローラ苫小牧㈱の２社の協力を経て実施いたしました。
昨年度は、エコ企業見学会という名称で、本推進会議委員でもある、高橋様が務められる㈱イワクラ、苫小牧バイオマス発電㈱の２社を対象に、エコな事業を行う企業を紹介しておりましたが、本年度からは、より市民向けで身近な内容としつつ、ゼロカーボン向けに特化した内容とし、新事業として初めて実施しました。
参加人数は、２０名を予定しておりましたが、当日の欠席により、１３名が参加しました。
資料①-1 をご覧ください。
見学の内容につきまして、初めに大鎮キムラ建設㈱の協力を経て、環境にも家計にも優しい「ZEH（ゼッチ）」モデルハウスを見学しました。
高い断熱性＋ヒートポンプ技術を採用した省エネ設備により、室内のどこにいても暖かく、家で使用する電気は、屋根に設置した太陽光パネルで自家発電します。夜、発電が出来ないときは、昼間発電した電気を蓄電池に貯め、これを利用します。
ZEH 住宅は、当初の購入するコストはかかりますが、通常の住宅と比較すると少ないエネルギー消費量で済むほか、自然エネルギーを利用しますので、光熱費がかからないものでございます。
2030 年には、省エネ基準を ZEH レベルまで引き上げ、義務化することを、国は指針として打ち出しておりますので、数年後には、ZEH が通常の仕様となっているかもしれません。
続いて、トヨタカローラ苫小牧㈱の協力を経て、ガソリン車と、HV、EV、FC といったエコカーの種類・特徴について、CO_2の排出量と比較しながら説明をしていただきました。また、水素自動車（MIRAI）への乗車体験や、ハンドルを握らず、ボタン一つで自動駐車することができる、アドバンストパークの体験を行いました。最新のクルマを実際に乗車し、安全対策や環境への負荷を低減する技術についても体感することができました。全参加者の皆様から、本見学会に参加して良かった旨のアンケートも得られ、　事業として成功したと考えております。
次に、「親子森林整備体験　秘密基地をつくろう！」の実施結果についてです。
本事業は令和４年 11 月 20 日（日）に、苫東・和みの森にて、NPO 法人いぶり自然学校様の協力を経て実施いたしました。

参加人数は20名を予定しておりましたが、当日のキャンセルがあり、全14名４家族が参加しました。
資料①-2をご覧ください。
木々は放っておくと、それぞれの枝が勝手な方向に伸びてしまい、枝葉（えだば）が増えすぎると木の内側が日陰となり、十分な日光を浴びることが出来ず、主に隣り合う木の成長が阻害されてしまう等の影響があります。木々が混み合わないよう、細かったり形があまり良くない木の間伐（かんばつ）を行います。苫東・和みの森でも、それらが起こらないよう、間伐や、枝の剪定（せんてい）をしており、本事業では、これら間伐や剪定により、広く散らばった間伐材を集め、活用し、秘密基地づくりの体験につなげております。子どもたちは、様々な工程を経て、皆、自分だけの秘密基地づくりを楽しんでおりました。
２０名の募集定員枠に対し、１００名近い応募がある等、昨今の環境への関心の高まりも伺え、アンケートでも参加した全家族から楽しかった旨の結果を得られました。
次に、「親子でエコ・クッキング教室」の実施結果についてです。
本事業は、令和５年２月18日（土）に、COCOTOMAのキッチンスタジオで、北海道地球温暖化防止活動推進員の奥谷先生の協力を経て実施いたしました。
参加人数は20名を予定しておりましたが、当日のキャンセルがあり、全16名７家族が参加しました。
調理をする際の方針として、１つの鍋で同時に調理したり、余熱で火を通すなど、エネルギー量を抑えた省エネ調理を行いました。実際に省エネ調理を行った後、保温調理中の時間を活用し、なぜ省エネ調理が必要なのか、地球温暖化防止についてのミニ講座を奥谷先生に併せて解説していただき、より地球温暖化防止への啓発を図ることを目的とした事業です。
時間をかけた手料理は非常においしいものばかりであったと、保護者もお子さんも大変ご満足いただいた事業となりました。
次に、「突撃！とまエコ企業」の実施結果についてです。
本事業は、令和４年４月 26 日（火）にトヨタカローラ苫小牧㈱、令和５年２月７日（火）に㈱Jファーム苫小牧工場　様２社の協力を経て、実施いたしました。
すでにトヨタカローラ苫小牧編の動画は、市公式YouTubeチャンネルにて公開しております。
二次元コードは、以前、委員の皆様へ共有させていただいた資料のままとなりますが、資料①-4に掲載しておりますので、ご活用ください。先ほど説明申し上げました、ゼロカーボン見学会の内容と概ね近しいものであることから、説明を割愛させていただきます。
㈱Jファーム苫小牧工場編の動画につきましては、現在編集作業を行っております。
撮影内容としては、CO2を活用した温室栽培とその効果についてや、自家発電で得られたエネルギーの有効活用、高効率なスマートアグリシステムによる栽培環境の管理などを紹介しております。
公開次第、改めて皆様へ共有させていただきます。
最後に、突撃！とまエコ企業の動画視聴回数の報告をいたします。
イワクラ編が令和３年３月から現在まで、714回。苫小牧バイオマス発電編が令和３年３月から現在まで7,407回、日本CCS調査編が令和３年１２月から現在まで906回、大鎮キムラ建設編が令和４年４月から現在まで740回、トヨタカローラ苫小牧編が令和４年８月から現在まで976回、昨年度からの累計再生回数は、10,743回、１年間の再生回数は、8,324回となりました。
なお、苫小牧バイオマス発電㈱編の再生回数が非常に伸びており、昨年同時期では 1,181 回の再生回数から、約6,200回増え、現在に至ります。

苫小牧市公式 YouTube チャンネルには現在 123 件の動画がございますが、本動画については、4 番目に再生回数が多い動画となっており、他の動画と比較しても関心度が非常に高いと考えられます。

次年度以降も継続して事業を実施いたします。

以上、簡単ではございますが、令和４年度の環境基本計画推進事業の説明を終わらせていただきます。

（岩田会長）

ありがとうございました。ただいまの説明に対し、御質問等ございますか。御質問等がある方は、挙手をお願いします。また、発言に際しましては、お名前を仰っていただいたあとに質問をお願いします。

委員の皆様、何もございませんか。

それでは、意見が無いようですので、続きまして、議題「環境基本計画推進会議のこれまでの歩み」について、事務局から説明をお願いいたします。

（三木主事）

環境保全課の三木と申します。よろしくお願いいたします。

私からは次第２の環境基本計画のこれまでの歩みについて、説明申し上げます。

着座にて説明させていただきます。

冒頭、櫻井より申し上げたとおり、本推進会議の環境審議会への統合にあたって、これまでの経過ですとか活動について、振り返る形でまとめさせていただいたので、資料２－１をご覧ください。

まずは、年表の形でまとめさせていただきました。上からですね、昭和４８年、本市は、公害のない健康で安全な都市環境の創造を目指し、昭和 48 年（1973 年）に「人間環境都市」を宣言し、当時国内で問題となっていた大気汚染や水質汚濁など公害の監視・指導に努めてきました。

また、人と自然が共生できる、美しく住みよいまちを目指すため、平成 11 年に「苫小牧市環境基本条例」を公布・施行いたしました。

平成 12 年には、快適な環境の保全及び創造を目指すため、「環境基本計画」の策定に向け、「環境を考える市民の会」を市民や事業者の意見を広く取り入れる場として設置しました。

この、「環境を考える市民の会」の意見を取り入れ、平成 15 年には「苫小牧市環境基本計画」を策定しました。この際、計画の策定をもって、市民の会は解散する予定でしたが、「策定後も計画の推進に関わっていくべき」との意見が挙がったことを踏まえて、「推進会議」を設置することとし、平成 16 年に、市、事業者、市民の協働により事業を推進する機関として、「環境基本計画推進会議」を設置しました。

その後、８度の委員改選を経て、現在に至ります。

前身である市民の会も含めると、平成 12 年（2000 年）の発足から、本推進会議は今年で２２年目となりました。

この間、本推進会議が主催となって実施した事業を、次のページから全て列挙しておりますので、参考までにご覧ください。事業一覧の一番最後に参加者の合計を記載しておりますが、平成 16 年（2004 年）より、環境基本計画推進会議が主催となった事業を実施し、現地参加型の事業への参加人数の合計は、2,759 人、ポスターコンテストや川柳コンテストのようなコンテスト型の事業で募集した作品の合計は、1,914 点となりました。

設立以来、永きにわたって、各種事業を主催し、環境基本計画の推進、市民への環境啓発を重点的に実施し続け、本推進会議が果たした役割ですとか、功績というのは非常に大きいものと考えております。

続いて資料 2-2 をご覧ください。

本年度の委員の皆様の任期満了に合わせ、本推進会議の役割を、本図のような形で、環境審議会へ移して、引き続き環境基本計画の推進、ゼロカーボンの啓発活動などを実施してまいります。

推進会議への新しい委員の委嘱・公募は実施せず、以降は環境審議会より公募等のお知らせを行いますので、ご了承ください。環境審議会委員につきましては、現在５月に公募を実施する予定でございます。

今後、本市は、次年度の４月１日より２年間実施する、ゼロカーボン×ゼロごみ大作戦！等を含め、近年の脱炭素社会、ゼロカーボンシティの実現に向けた対策を、より計画的に進める必要がございます。

これまでの流れを経て、本年度に計画を全面改定し、ゼロカーボンの推進を含めた、苫小牧市第４次環境基本計画～第１期ゼロカーボン推進計画を策定した、この機会に、本推進会議の役割を環境審議会へ統合することで、苫小牧市のゼロカーボンシティ実現に向けた取組を、より重点的に加速化させていこうと考えております。

以上、簡単ではございますが、説明を終わらせていただきます。

（岩田会長）

ありがとうございました。ただいまの説明に対し、御質問等ございますか。御質問等がある方は挙手をお願いします。

また、発言に際しましては、お名前を仰っていただいたあとに質問をお願いします。

他に無いようですので、続きまして、次第３に移ります。事務局よりお願いいたします。

（石黒部長）

環境衛生部長の石黒でございます。

次第３は閉会の挨拶ということで、閉会にあたりまして、一言、ご挨拶申し上げたいと思います。

本推進会議の設立の経緯と歩みにつきましては、先ほど、ご説明させていただきましたとおりでございますが、委員の皆様におかれましては、これまでの長きにわたりまして、本会議の目的である環境基本計画の推進にあたり、多大なご貢献を賜りました。改めまして、感謝申し上げます。

本市では、一昨年のゼロカーボンシティ宣言を踏まえ、2050 年のゼロカーボンの実現を見据え、その中間年度にあたる 2030 年度における CO２排出削減目標値の達成に向けた実行計画としての位置付けを加え、今年度、第３次環境基本計画を全面改定し、第４次環境基本計画、副題として第１期ゼロカーボン推進計画を策定いたしました。

また、新年度からは、令和５年度と６年度、２か年かけて、「ゼロカーボン×ゼロごみ大作戦」として、ゼロカーボンやごみの減量・リサイクル、そして、自然環境の保全・活用といった、環境をテーマにした各種イベントや行事、市民向けの啓発活動を広く行っていくことになりました。

今回の計画改訂、第４次環境基本計画の策定に当たりましては、環境審議会の委員の皆様から、様々な観点から深くご意見をいただいたところであり、これまで計画の推進と進捗に大変重要な役割を担っていただきました本推進会議の委員任期の満了となるこの年度末をもちまして、その役割を、環境審議会

に引き継ぐこととさせていただきました。

　環境を巡る問題は、今後、益々、重要性を増していく課題であり、先人たちの紡がれた想いが途切れることのないよう、そしてこれからの苫小牧を担う子ども達が、自然と共生し、美しく住みよいまちに暮らせるよう、引き続き、まちぐるみで、環境啓発を推進してまいりたいと考えております。

　最後となりますが、これまで「環境を考える市民の会」及び「環境基本計画推進会議」の委員を務めあげられた皆様へ改めて感謝を申し上げまして、閉会の挨拶に代えさせていただきたいと思います。

　本日は皆様、誠にありがとうございました。

（岩田会長）

　ありがとうございました。続きまして、次第４に移ります。委員の皆様から何かありませんか？

（Ｂ委員）

　北海道電力ネットワークのＢと申します。

　環境基本計画の推進会議とは直接関係はないですが、弊社、組織見直しの関係で、４月１日より苫小牧支店という名称が、道央南統括支店と名前が変わりますので、折角の機会ですので、皆様にお知らせいたします。以上でございます。

（岩田会長）

　ありがとうございました。他にございませんか。

　なければ事務局から何かございませんか。

　全体を通して、委員の皆様、事務局の皆様何かございませんか。

　それでは、以上を持ちまして、令和４年度第２回の苫小牧市環境基本計画推進会議を終了させていただきます。

　私から、一言ご挨拶させていただきます。短い期間ではございましたけれども、会長に携わることが出来ました。各委員の皆様、そして事務局の皆様、これまで御協力いただきありがとうございました。改めましてお礼を申し上げまして、退任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。